

プロジェクト K ～塩江を愛する挑戦者たち～

代表者 菅田 雄 （医学部医学科 2 年）



1. 目的と概要

本プロジェクトはコミュニティデザイン実習で「塩江」について学んだ学生が主となり、立ち上げたプロジェクトです。授業を通じて知り合った一般社団法人トピカの村山さんから講義をいただいたり、実際に現地へ赴いたりすることで塩江の自然や人情にすっかり魅了されてしまいました。私たちはそんな塩江について、さらに知りたい、もっと多くの方に知っていただきたい、そのような目的を持ち活動をしています。活動内容としては村山さんが企画されているイベントにお邪魔させていただき、塩江について学んだり、学んだことを通して企画を考え、実行したりしました。今期は「あつまれ！しおのえの森」というイベントを村山さん監修のもと企画・実行し多くの方に参加していただき、共に素敵なひと時を過ごすことができました。



2. 実施期間（実施日）

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

成果内容としては、イベントの実施により、塩江の森林を子供たちに身近に感じてもらうことができ、遊びの中で学ぶという、近年では減少傾向にある経験を提供できたと思います。この経験が将来子供たちが自然を大事に思う心や、学校では学べない各々の感性や個性の育成に繋がったと思います。

また学生の視点では、イベントを準備する過程で、塩江の自然や、文化や歴史を学び、地域住民の方々と交流することができた。この交流によって、学生は普段できない体験や経験を積み、地域住民の方々は普段の作業や労働にやりがいを感じ、学生の訪問を歓迎してくださった。このような経験を通じて塩江と香川大学生のより自由度の高いゆるやかな関係を作ることができたと考えております。これからもこの関係を持続させていくことを目標に活動をしていきます。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本プロジェクトを実施したことにより、地域の子どもたちに遊び場を提供することができただけでなく、自然の大切さや地域愛について伝えることができたと考えます。最初は遠慮をしていた子も私たちの作成した遊具と一緒に遊ぶことで徐々に笑顔が見られるようになり、帰る際には土のついた小さな手を振ってくれたことがとてもうれしかったです。さらには私たちが大学生であるということを伝えると「どんなことを勉強しているの？」や「大学は楽しい？」などを聞かれ、大学での日常や本プロジェクトのことを話すと目をキラキラと輝かせながら話を聞いてくれました。このことから大学はただお勉強をするところでは

なく、もっと自由で楽しいところだというイメージを持ってもらうことができたと考えます。保護者の方におかれましては非常に好評な意見をいただき、「香川大学」をより身近に感じていただく良い機会になったのではないかと思います。



5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

塩江プロジェクトを通じて、学生生活に多くの良い影響がありました。学校生活ではなかなか自然と触れ合う機会が少ない中、塩江プロジェクトを通して自然に触れることができ、自然環境への理解や関心が深まりました。また、塩江の住民や訪れた家族との交流を通じて、地域社会の一員としての意識が高まり、住民の方々とのふれあい方を学び、地域とのつながりを感じることができました。プロジェクト主催のイベントを行う際には、どのような姿勢で地域に関わっていけばいいのかを考える機会となり、イベントの企画・運営スキルが向上し、チームワークやリーダーシップの重要性を学びました。様々な人との交流やイベントを通して、年齢や住む場所が違っていても共通の関心を持つ人々となつなげることができ、コミュニケーション能力や対人スキルが向上しました。さらに、塩江が好きでこの場所に来ている人々との交流を通じて、地域への愛着が深まり、地域社会に貢献したいという意識が芽生えました。このように、塩江プロジェクトは学生生活に多くの良い影響を与え、自然や地域社会とのつながりを深める貴重な機会となりました。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

反省点は大きく分けて3つあります。1つ目は、学生がイベントを開催することは出来るけれどそれが、塩江町全体を大きく変えるような出来事には必ずしもなかったということです。2つ目は、広報活動が足りなかったということです。カダイジェスト1月号に掲載させていただいたものの、それ以外の広報活動がほぼ無い状態でした。来年度は SNS を中心に広報活動を活発に行きたいと考えています。3つ目は、予算の執行が思うようにできず、多大な予算を残してしまった事です。今後の活動としては一年で少しずつ見えてきた塩江のメンバーの感じるそれぞれの魅力を、町内外問わずたくさんの方に届けられるような活動をする事です。プロジェクトを実施する中でそれぞれ苦勞することがあったと思いますが、全員の塩江に対する愛着によってなんとかまとめることができていたと感じます。お世話になった一般社団法人トピカをはじめとする地域住民の皆様、顧問の先生方、構成員の皆様に心から感謝を申し上げます。



7. 実施メンバー

代表者 菅田 雄（医学部 2 年）

構成員 會田吉音（医学部看護学科 2 年） 尾形駿介（農学部応用生物科学科 2 年）

村上稜真（医学部医学科 2 年） 横山夕藍（法学部法学科 2 年）

西山太貴（医学部医学科 1 年）

新垣真里那（創造工学部創造工学科メディアデザインコース 2 年）

島田星奈（創造工学部創造工学科 2 年） 齋藤 美喜（経済学部経済学科 2 年）

池部元（医学部医学科 1 年）

8. 執行経費内訳書

配 分 予 算 額		1 2 2, 7 0 6 円		
執行経費（品目等）	数量	単価(円)	金額(円)	備 考
交通費	1		1 6, 9 2 0	琴電
応急セット	2	3, 3 8 6	6, 7 7 2	
合 計			2 3, 6 9 2	

支出	
交通費（円）	日付
5040	9月12日
720	9月20日
3060	10月25日
1260	12月8日
5760	12月14日
1080	1月26日
16920	